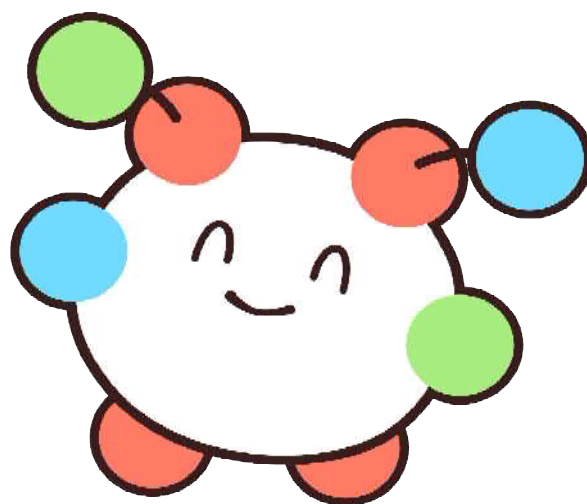


お知らせします！ 基金の使い道！！

（令和5年度末）



富山県南砺市

1. 基金の状況

令和5年度末時点で、23の基金を設置しています。基金残高は下表のとおりです。
(基金残高合計：280億3,501万円)

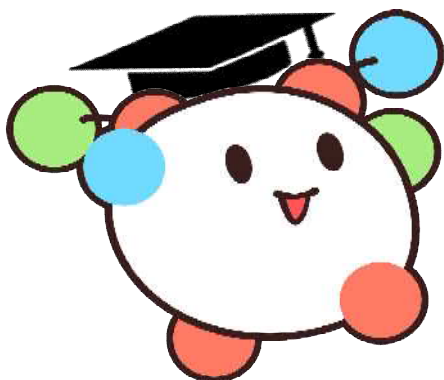
(単位：円)

基金名	設置目的	R 5 末残高
01_財政調整基金 (積立)	市財政の健全な運営を図るため	3,988,823,600
02_減債基金 (積立)	市債の償還に必要な財源を確保するとともに、将来にわたる市財政の健全な運営を図るため	6,042,112,889
03_施設等整備基金 (積立)	市の施設等の整備を計画的に実施するため(道路整備5箇年計画等)	2,107,636,186
04_国際交流基金 (積立)	市民の国際交流事業の推進を図るため	103,026,869
05_社会福祉基金 (積立)	市民の福祉の増進を図るため	1,437,314,851
06_環境保全基金 (積立)	地域住民が共同して行う土地改良施設等の地域資源の保全及び活用に係る事業を推進し、農村地域の良好で快適な環境の創造を図るため	67,269,264
07_合併地域振興基金 (積立)	8町村の合併に伴い誕生した本市住民の一体感の醸成、発展あるまちづくり及び元気な地域づくりを推進するため	3,279,014,196
08_クレー射撃場施設管理基金 (積立)	クレー射撃場施設の維持管理費に充てるため	2,350,956
09_過疎地域自立促進基金 (積立)	過疎地域自立促進特別事業に要する経費に充てるため(産業振興、交通通信、厚生、教育文化、その他)	582,956,096
10_すこやか子育て基金 (積立)	次代を担う子どもたちの健やかな成長を図り、結婚、妊娠、出産、子育て及び教育まで切れ目のないサービスを提供できる環境づくりを図るため	1,556,104,552
11_地方創生推進基金 (積立)	南砺幸せなまちづくり創生総合戦略に係る事業の継続的な推進を図るため	1,769,830,462
12_公共施設再編基金 (積立)	公共施設再編計画の着実な実行を図るため	2,600,000,000
13_Uターン就職奨学基金 (積立)	奨学資金の貸与を受けた者の返済額を助成し、Uターン就職及び市内での定住の推進を図るため	14,587,000
14_商工観光振興基金 (積立)	地域の商工業の振興及び観光事業の推進に資するため	1,227,698,432
15_こども未来創造基金 (積立)	児童・生徒の多様な学びの機会を提供し、魅力あふれる人材育成の推進に資するため	886,691,869
16_森林環境譲与税基金 (積立)	森林の整備や、それを担う人材の育成・確保などの施策に要する費用に充てるため	4,115,135

基金名	設置目的	R5末残高
17_新型コロナウイルス感染症対策基金 (積立)	新型コロナウイルス感染症に対する感染拡大防止、地域経済及び市民生活の維持等に要する費用に充てるため	0
18_南砺応援基金 (積立)	寄附の意向に沿ったまちづくりの推進に資するため	21,304,780
19_国民健康保険事業財政調整基金 (積立)	国民健康保険事業の健全な財政運営を図るため	651,527,405
20_訪問看護事業財政調整基金 (積立)	訪問看護事業の健全な財政運営を図るため	146,154,197
21_奨学基金 (定額)	奨学金に関する事務を円滑かつ効果的に行うため	192,591,616
22_土地開発基金 (定額)	公用若しくは公共用に利用する土地又は公共の利益のために取得する必要がある土地をあらかじめ取得することで、公共事業の円滑な執行を図るため	1,299,800,440
23_美術品取得基金 (定額)	美術品の取得に要する経費に充てるため	54,098,107
合計		28,035,008,902

※1 (積立)：積立基金のこと。特定の目的のために積み立てられた基金。基金の運用から生ずる収益も含め、特定事業の財源として活用（取崩し）できる。

※2 (定額)：定額運用基金のこと。特定の目的のため、定額の資金を運用する目的で積み立てられた基金。歳入歳出予算に計上することなく、直接、基金で土地や美術品を購入したり、資金を貸し付ける。



基金とは、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するために設けられる資金又は財産のことで、いわゆる「南砺市の貯金」のことだよ。

基金には、

○「財政調整基金」

…経済の不況等によって大幅な減収減に遭ったり、災害の発生など思わぬ支出の増加などに備えるための基金

○「減債基金」

…市の借金である地方債の償還に充てるための基金

○「特定目的基金」

…その他特定の目的のために設置された基金
(例：すこやか子育て基金、施設等整備基金、地方創生推進基金など)

などがあるよ。

2. 基金の活用状況と残高の推移

令和5年度に基金を使って実施した事業を紹介します。

※表示単位の端数処理（四捨五入）により、合計等が一致しない場合があります。

また、表示単位未満の数値があるときは「0」、数値がないときは「-」とします。

01_財政調整基金

（担当：財政課）

令和5年度は、補正予算の財源として、989万円を取り崩しました。

また、基金運用益に加え、令和5年度末をもって廃止した「新型コロナウイルス感染症対策基金」から引き継いだ基金残高を合わせた計4億9,734万円を積み立て、後年度の財源調整に活用します。

<基金残高の推移>

	R1	R2	R3	R4	R5
前年度末残高	34億7,966万円	34億7,234万円	34億4,785万円	35億1,366万円	35億1,37万円
当該年度積立額	963万円	1億5,622万円	3億8,880万円	4億9,734万円	4億9,734万円
当該年度取崩額	1,695万円	1億8,071万円	3億2,299万円	989万円	989万円
当該年度残高	34億7,234万円	34億4,785万円	35億1,366万円	35億1,37万円	39億8,882万円

（注）財政調整基金の残高は、標準財政規模（全国どこでも同じ水準の行政サービスを提供するために必要な一般財源のこと。令和5年度は213億6,179万円）の10%から15%程度となるように、努めることとしています。

02_減債基金

（担当：財政課）

令和5年度は、公債費（借金の返済）の財源として、2億5,850万円を取り崩しました。

また、基金運用益1,553万円は、基金に積み立てました。

<基金残高の推移>

	R1	R2	R3	R4	R5
前年度末残高	58億4,382万円	60億5,998万円	60億7,676万円	62億9,295万円	62億8,509万円
当該年度積立額	21億6,166万円	1,678万円	2億1,619万円	2,114万円	1,553万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	- 万円	2,900万円	2億5,850万円
当該年度残高	60億5,998万円	60億7,676万円	62億9,295万円	62億8,509万円	60億4,211万円



災害等の不測の事態で、突然に歳入が減ったり、歳出が増えたりしても、一定規模の財政調整基金を備えることで、持続的なサービスの提供に対応することができます。
また、減債基金を活用することで、年度間の公債費の負担をならしています。

03_施設等整備基金

(担当：財政課)

令和5年度は、道路整備5箇年計画（R5～R9）に基づく市道整備事業や、公共施設の維持補修費の財源として、1億8,640万円を取り崩しました。

また、公共施設の老朽化が進行しているため、決算剰余金等から1億5,000万円を基金に積み立て、今後の維持補修費の増大に備えました。また、基金運用益528万円も、基金に積み立てています。

<基金残高の推移>

	R1	R2	R3	R4	R5
前年度末残高	20億1,319万円	19億7,066万円	19億1,882万円	21億3,723万円	21億3,875万円
当該年度積立額	557万円	546万円	3億 511万円	1億5,552万円	1億5,528万円
当該年度取崩額	4,810万円	5,730万円	8,670万円	1億5,400万円	1億8,640万円
当該年度残高	19億7,066万円	19億1,882万円	21億3,723万円	21億3,875万円	21億 764万円

04_国際交流基金

(担当：交流観光まちづくり課)

令和5年度は、南砺市国際交流協会の実施する事業に必要な補助金の財源として、1,590万円を取り崩しました。

また、決算剰余金等と基金運用益の合計1,526万円を基金に積み立てました。

<基金残高の推移>

	R1	R2	R3	R4	R5
前年度末残高	8,568万円	7,514万円	8,590万円	9,542万円	1億 367万円
当該年度積立額	24万円	1,521万円	1,523万円	1,525万円	1,526万円
当該年度取崩額	1,078万円	445万円	570万円	700万円	1,590万円
当該年度残高	7,514万円	8,590万円	9,542万円	1億 367万円	1億 303万円

05_社会福祉基金

(担当：財政課)

令和5年度は、高齢者福祉施設の維持補修費の財源として、190万円を取り崩しました。基金運用益347万円は、基金に積み立てず、社会福祉法人 南砺市社会福祉協議会に対する補助金の財源として充当しました。

また、決算剰余金等から3,500万円を、基金に積み立てました。

<基金残高の推移>

	R1	R2	R3	R4	R5
前年度末残高	13億6,291万円	13億2,541万円	13億5,811万円	13億8,191万円	14億 421万円
当該年度積立額	- 万円	3,500万円	3,500万円	3,500万円	3,500万円
当該年度取崩額	3,750万円	230万円	1,120万円	1,270万円	190万円
当該年度残高	13億2,541万円	13億5,811万円	13億8,191万円	14億 421万円	14億3,731万円

06_環境保全基金

(担当：財政課)

令和5年度は、基金運用益17万円を、市単独土地改良事業補助金の財源として充当しました。積立て、取崩しの実績はありませんでした。

<基金残高の推移>

	R1	R2	R3	R4	R5
前年度末残高	6,727万円	6,727万円	6,727万円	6,727万円	6,727万円
当該年度積立額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度残高	6,727万円	6,727万円	6,727万円	6,727万円	6,727万円

07_合併地域振興基金

(担当：財政課)

令和5年度は、地域住民主体のまちづくり拠点施設整備事業の財源として、920万円を取り崩しました。

また、基金運用益812万円は、基金に積み立てず、各種イベント（城端むぎや祭、福野夜高祭、福光ねつおくり七夕祭り、いのくち椿まつりなど）に対する補助金の財源として充当しました。

<基金残高の推移>

	R1	R2	R3	R4	R5
前年度末残高	39億 29万円	33億8,384万円	32億9,891万円	32億9,891万円	32億8,821万円
当該年度積立額	- 万円	627万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度取崩額	5億1,645万円	9,120万円	- 万円	1,070万円	920万円
当該年度残高	33億8,384万円	32億9,891万円	32億9,891万円	32億8,821万円	32億7,901万円

08_クレー射撃場施設管理基金

(担当：生涯学習スポーツ課)

令和5年度は、クレー射撃場の維持管理費の財源として、990万円を取り崩しました。

また、基金運用益3万円は、基金に積み立てず、同じくクレー射撃場の維持管理費の財源として充当しました。

<基金残高の推移>

	R1	R2	R3	R4	R5
前年度末残高	1,697万円	1,607万円	1,612万円	1,222万円	1,225万円
当該年度積立額	- 万円	5万円	- 万円	3万円	- 万円
当該年度取崩額	90万円	- 万円	390万円	- 万円	990万円
当該年度残高	1,607万円	1,612万円	1,222万円	1,225万円	235万円

9_過疎地域自立促進基金

(担当：財政課)

令和5年度は、定住推進事業、空き家対策事業、剪定枝回収事業、令和5年度全国高等学校総合体育大会スキー競技大会補助金の財源として、7,880万円を取り崩しました。

また、過疎対策事業債（ソフト）から1億3,990万円、基金運用益から129万円の合計1億4,119万円を基金に積み立て、引き続き、過疎地域の持続的な発展・活性化を図る事業の財源として活用していきます。

＜基金残高の推移＞

	R1	R2	R3	R4	R5
前年度末残高	3億8,181万円	3億2,767万円	3億9,788万円	4億3,894万円	5億2,057万円
当該年度積立額	1億 526万円	1億5,131万円	1億3,426万円	1億4,493万円	1億4,119万円
当該年度取崩額	1億5,940万円	8,110万円	9,320万円	6,330万円	7,880万円
当該年度残高	3億2,767万円	3億9,788万円	4億3,894万円	5億2,057万円	5億8,296万円

10_すこやか子育て基金

(担当：財政課)

令和5年度は、保育料軽減事業、祝い金の給付、高校生通学定期券購入補助、こども妊産婦医療費助成事業、不妊治療費助成事業等の財源として、1億8,960万円を取り崩しました。

また、決算剰余金等から1億5,000万円、基金運用益から393万円の合計1億5,393万円を基金に積み立てました。

【主な事業と充当額】

・ 保育園費（保育料軽減事業、臨時保育士処遇改善分）	6,870万円
・ こども妊産婦医療費給付費（医療費助成）	6,460万円
・ 児童育成費（出生祝い金、入学・卒業祝い金、高校生通学定期券購入補助）	3,270万円
・ 施設型給付等支援費（保育料軽減事業）	190万円
・ すこやか親子支援事業費（出産準備支援事業、不妊治療助成事業）	190万円
・ ひとり親家庭医療費給付費（医療費助成）	230万円
・ 就学援助費	1,750万円

＜基金残高の推移＞

	R1	R2	R3	R4	R5
前年度末残高	15億1,566万円	15億3,395万円	15億7,020万円	15億8,288万円	15億9,177万円
当該年度積立額	2億 419万円	1億5,425万円	1億5,418万円	1億5,409万円	1億5,393万円
当該年度取崩額	1億8,590万円	1億1,800万円	1億4,150万円	1億4,520万円	1億8,960万円
当該年度残高	15億3,395万円	15億7,020万円	15億8,288万円	15億9,177万円	15億5,610万円



子育てのしやすい環境の整備や、「こどもまんなか社会」の実現に向け、さまざまな支援を充実させていきます。



11_地方創生推進基金

(担当：政策推進課)

令和5年度は、第2次総合計画「なんとまちづくりプラン」に掲げる施策などの財源として、2億8,030万円を取り崩しました。

また、基金運用益から490万円、寄附金から6,020万円の合計6,510万円を基金に積み立てました。

<基金残高の推移>

	R1	R2	R3	R4	R5
前年度末残高	4億5,182万円	8億5,967万円	13億6,355万円	19億9,488万円	19億8,503万円
当該年度積立額	8億 125万円	5億 738万円	8億1,363万円	2億 525万円	6,510万円
当該年度取崩額	3億9,340万円	350万円	1億8,230万円	2億1,511万円	2億8,030万円
当該年度残高	8億5,967万円	13億6,355万円	19億9,488万円	19億8,503万円	17億6,983万円

○地方創生推進基金を充当した主な事業（施策体系別）

1.未来に希望がもてるまち

事業名	事業内容	基金充当額
中学校部活動支援事業	中学校部活動に外部指導員を配置	480万円
図書館デジタル化推進事業	市立図書館と学校図書館の共通システム化に加え、「自動貸出機」「自動返却機」「予約棚」「読書通帳機」等を設置	9,520万円
子ども家庭総合支援拠点事業	「南砺市子ども家庭総合支援拠点」（小規模A型）を設置し、子どもとその家庭及び妊産婦等の福祉に関し必要な支援を実施	340万円
認可外保育施設利用料（保育料等）支援事業	0～2歳児の保育料軽減	100万円
とやまっ子さんさん広場推進事業	地域で子どもの居場所づくりを行う団体への助成	640万円
放課後児童クラブ事業	放課後等に、適切な遊び・生活の場を提供	1,470万円
放課後子ども教室事業	平日の放課後に小学校等を活用し、子どもたちに活動の場を提供	240万円
土曜学習推進事業	地域の参画により、週末等の休日に小学校等を活用し、子どもたちに活動の場を提供	170万円

2.多様な幸せを実感できるまち

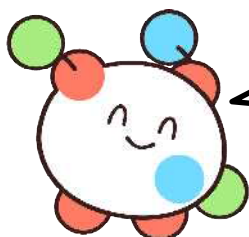
事業名	事業内容	基金充当額
スポーツで健康向上事業	総合型地域スポーツクラブが中心となって市民にスポーツの機会を提供し、健康増進を図る。	201万円
女性活躍・ジェンダーギャップ解消推進事業	働き方改革に向けた地域向けセミナー、女性従業員向けキャリア支援セミナーの開催	100万円

3.心豊かな暮らしができるまち

事業名	事業内容	基金充当額
令和新時代まちづくり事業	地域団体等が実施する人口減少対策の取組（県の「令和新時代のまちづくり推進事業補助金」を活用したもの）を支援	2,070万円
Uターン応援金・Iターン応援金・ウェルカム応援金	南砺市に転入した方に対する支援金	780万円
農業人材活用促進重点事業	持続的な営農体制を構築するため、スキルアップや経営開始後の収入不安定期に、補助金を交付	160万円
コンベンション支援等事業	市内及び近隣市で開催されたコンベンションを対象に、参加者の市内での宿泊費の一部を助成	100万円
VR360度バーチャルツアー開発事業	市の観光スポットを体験できるVR映像を制作	270万円
園芸作物生産拡大支援事業補助金	高収益を目指し、生産拡大を図る重点振興園芸作物の作付面積に応じ、補助金を交付	180万円
市営バスデマンド実証運行事業	市営バス巡回路線をデマンド方式へ変更することを想定し、実証運行を実施	400万円

4.皆で考えともに行動するまち

事業名	事業内容	基金充当額
地場産農作物消費向上事業	小中学校及び保育園での地場産農産物及び加工品の活用を推進	130万円
散居景観保全事業	散居景観の保全・育成を推進するため、散居村の屋敷林の枝打ち等を支援	440万円
松村記念館資料調査事業	政治家・松村謙三氏に関する資料調査・データベース化に取り組む。	320万円
棟方志功資料調査事業	棟方志功生誕120年を迎えるに当たり、関係資料を調査・整理・データ化	380万円
景観づくり住民協定等推進事業	景観づくり住民協定を締結した地域が実施する事業を支援	120万円
民藝活用事業	「南砺市の民藝」を市内外に周知し、文化観光面での活用事業を実施	140万円
いなみ国際木彫刻キャンプ2023	「南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ2023」の実行委員会への補助金	1,400万円
若者ネットワーク事業	若い世代（高校生）が主体的に行う事業の企画・実施をきっかけに、若者の様々な分野への参画を図る	520万円
住民自治推進交付金事業	地域づくり協議会に対する活動費や地域指導員などの人件費として交付金を交付	6,640万円



市の将来像「誰ひとり取り残さない 誰もが笑顔で暮らし続けられるまちへ」の実現に向け、必要な取組を推進していきます。



12_公共施設再編基金

(担当：財政課)

令和5年度は、基金運用益642万円を、保育園及び小中学校の維持管理費（光熱水費）の財源として充当しました。積立て、取崩しの実績はありませんでした。

<基金残高の推移>

	R1	R2	R3	R4	R5
前年度末残高	26億円	26億円	26億円	26億円	26億円
当該年度積立額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度残高	26億円	26億円	26億円	26億円	26億円

13_Uターン就職奨学基金

(担当：教育総務課)

令和5年度は、奨学金返還助成事業（奨学金の貸与者で市内に就職された方が対象）の財源として99万円を取り崩しました。

また、基金運用益4万円は、基金に積み立てず、事務局運営費の財源として充当しました。

<基金残高の推移>

	R1	R2	R3	R4	R5
前年度末残高	2,282万円	2,086万円	1,896万円	1,706万円	1,557万円
当該年度積立額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度取崩額	196万円	190万円	190万円	148万円	99万円
当該年度残高	2,086万円	1,896万円	1,706万円	1,557万円	1,459万円

14_商工観光振興基金

(担当：財政課)

令和5年度は、地域の商工業振興事業及び観光推進事業の財源として、5,160万円を取り崩しました。

また、今後のPLAY EARTH PARK事業の推進のための経費として、決算剰余金等から4億5,000万円、基金運用益から204万円の合計4億5,204万円を基金に積み立てました。

<基金残高の推移>

	R1	R2	R3	R4	R5
前年度末残高	3億9,881万円	4億4,991万円	4億7,476万円	4億7,602万円	8億2,725万円
当該年度積立額	5,110万円	5,125万円	5,126万円	4億0,123万円	4億5,204万円
当該年度取崩額	- 万円	2,640万円	5,000万円	5,000万円	5,160万円
当該年度残高	4億4,991万円	4億7,476万円	4億7,602万円	8億2,725万円	12億2,770万円

※平成30年度に、果実運用基金であった「産業振興基金」を、新たな積立基金「商工観光振興基金」に積み替えました。

15_こども未来創造基金

(担当：財政課)

令和5年度は、小・中学校のICT教育関係の機器配備や更新費用の財源として、2,670万円を取り崩しました。

また、決算剰余金等から5,000万円、基金運用益から213万円の合計5,213万円を基金に積み立てました。

＜基金残高の推移＞

	R1	R2	R3	R4	R5
前年度末残高	4億4,886万円	7億5,010万円	7億7,248万円	8億2,453万円	8億6,126万円
当該年度積立額	3億 124万円	5,208万円	5,206万円	5,213万円	5,213万円
当該年度取崩額	- 万円	2,970万円	- 万円	1,540万円	2,670万円
当該年度残高	7億5,010万円	7億7,248万円	8億2,453万円	8億6,126万円	8億8,669万円

※平成30年度に、果実運用基金であった「学校教育振興基金」・「生涯学習振興基金」・「文化振興基金」・「スポーツ振興基金」の4基金を、新たな積立基金「こども未来創造基金」に積み替えました。

16_森林環境譲与税基金

(担当：財政課)

令和5年度は、計画的な森林の整備や、人材の育成・確保などの施策の財源として、7,860万円を取り崩しました。

また、森林環境譲与税から4,907万円、基金運用益から8万円の合計4,915万円を基金に積み立てました。

【主な事業と充当額】

・林業振興対策費費（森林・林業担い手育成業務）	200万円
・森林育成対策費（森林経営管理推進事業）	6,780万円
・児童育成費（なんとの宝お祝い事業）	390万円
・ゼロカーボンシティ推進費（森林資源燃料活用促進事業）	490万円

＜基金残高の推移＞

	R1	R2	R3	R4	R5
前年度末残高	- 万円	1,726万円	3,345万円	3,999万円	3,356万円
当該年度積立額	1,762万円	3,749万円	3,774万円	4,917万円	4,915万円
当該年度取崩額	36万円	2,130万円	3,120万円	5,560万円	7,860万円
当該年度残高	1,726万円	3,345万円	3,999万円	3,356万円	412万円



【一口メモ】森林環境譲与税って？

森林の機能の十分に発揮するために必要な財源を安定的に確保するため、令和6年度（2024年度）から、一人年額1,000円の森林環境税（国税）が課税されています。その税収の全額が、森林環境譲与税として、都道府県・市町村に譲与されています。

※森林整備が緊急の課題であることを踏まえ、森林環境譲与税は、令和元年度（2019年度）から前倒しで交付されています。

市町村における森林環境譲与税の使い道は、「森林整備及びその促進に関する費用」と決まっています。

17_新型コロナウイルス感染症対策基金

(担当：財政課)

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症に対する感染拡大防止、地域経済及び市民生活の維持等に資する施策の財源として、4,587万円を取り崩しました。

なお、基金設置の所期の目的を果たしたことから、令和5年度をもって、新型コロナウイルス感染症対策基金は廃止しました。基金残高は、財政調整基金に繰り入れています。

<基金残高の推移>

	R1	R2	R3	R4	R5
前年度末残高	- 万円	- 万円	4億 813万円	3億1,914万円	2億7,242万円
当該年度積立額	- 万円	4億 813万円	117万円	82万円	- 万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	9,015万円	4,754万円	2億7,242万円
当該年度残高	- 万円	4億 813万円	3億1,914万円	2億7,242万円	- 万円

○新型コロナウイルス感染症対策基金を充当した主な事業

事業名	事業内容	基金充当額
市立図書館デジタル化推進事業	図書館の非接触型サービスを強化	1,316万円
小・中学生、妊婦のインフルエンザ予防接種費助成事業	子育て世帯や妊婦の経済的・精神的な負担を軽減するため、インフルエンザ予防接種費用を助成	760万円
市立小中学校コロナ対策事業	校内におけるアルコール消毒剤等を用いた感染防止対策等の実施	283万円
新型コロナウイルス感染症介護サービス事業所継続支援助成	地域医療の病床逼迫等により、やむを得ず施設内療養を実施した介護サービス事業所に対し、必要経費を支援	93万円
南砺金沢線活用誘客促進事業	南砺金沢線・世界遺産バスの利用時に使用できるフリーパスの割引キャンペーンを実施	136万円
スポーツクラブ入会促進事業補助金	スポーツクラブの新規加入者を対象に年会費の1/2助成を実施	144万円
オンライン窓口整備	マイナンバー申請やマイナポータル利用ができる機器を市民センター（福野・福光）に設置、非接触での手続きを推進	289万円
iPadタブレット更新	感染防止対策として、オンライン会議等の非接触でのサービスを推進	1,019万円
議会ペーパーレス会議システム使用料	ペーパーレスとオンライン会議の促進	112万円

18_南砺応援基金

(担当：財政課)

令和5年度は、寄附の目的に沿った事業の財源として、150万円を取り崩しました。
また、ふるさと納税制度を活用したガバメントクラウドファンディングなどを通じていただいた寄附金から1,090万円、基金運用益から3万円の合計1,093万円を積み立てました。

【活用した事業と充当額】

・高校生ネットワーク事業（ボクなん）	85万円
・ハサ掛けプロジェクト	55万円
・南相馬復興支援	10万円

＜基金残高の推移＞

	R1	R2	R3	R4	R5
前年度末残高	- 万円	- 万円	- 万円	830万円	1,188万円
当該年度積立額	- 万円	- 万円	830万円	642万円	1,093万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	- 万円	284万円	150万円
当該年度残高	- 万円	- 万円	830万円	1,188万円	2,130万円

19_国民健康保険事業財政調整基金

(担当：健康課)

令和5年度は、国民健康保険事業特別会計の財源不足に対応するために、6,879万円を取り崩しました。また、基金運用益178万円を積み立てました。

＜基金残高の推移＞

	R1	R2	R3	R4	R5
前年度末残高	8億8,726万円	7億9,168万円	8億1,041万円	7億6,537万円	7億1,855万円
当該年度積立額	245万円	1,873万円	216万円	198万円	178万円
当該年度取崩額	9,803万円	- 万円	4,720万円	4,881万円	6,879万円
当該年度残高	7億9,168万円	8億1,041万円	7億6,537万円	7億1,855万円	6億5,153万円

20_訪問看護事業財政調整基金

(担当：医療課)

令和5年度は、訪問看護事業特別会計の財源不足に対応するために、1,700万円を取り崩しました。また、基金運用益40万円を積み立てました。

＜基金残高の推移＞

	R1	R2	R3	R4	R5
前年度末残高	8,825万円	2億2,449万円	1億9,481万円	1億7,959万円	1億6,275万円
当該年度積立額	1億5,024万円	32万円	52万円	46万円	40万円
当該年度取崩額	1,400万円	3,000万円	1,574万円	1,730万円	1,700万円
当該年度残高	2億2,449万円	1億9,481万円	1億7,959万円	1億6,275万円	1億4,615万円

3. 定額運用基金の状況

1. 奨学基金

《貸付金と貸与者数の状況》

区分	令和4年度末 貸与者数	令和4年度末 現在高（貸付残高）	令和5年度		令和5年度末 貸与者数	令和5年度末 現在高（貸付残高）
			貸付	返済		
10,000円/月	1人				26人	
30,000円/月	0人				3人	
35,000円/月	33人				1人	
計	34人	8,690万円	1,233万円	2,088万円	30人	7,835万円

《基金現金の状況》

区分	令和4年度末 現在高	令和5年度		令和5年度末 現在高
		増	減	
現金	1億569万円	2,088万円	1,233万円	1億1,424万円

南砺市奨学金貸与制度の概要

1. 奨学資金の目的

有用な人財の育成を図るため、優れた資質があるにも関わらず、授業料等の支払いが困難な学生に対して、奨学資金を貸与しています。

2. 資金の貸与を受けることができる方

次の全てに該当することが必要です。

- (1) 保護者が市内に住所を有していること。
- (2) 健康かつ品行方正であって、学業成績が優秀であること。
- (3) 授業料等の支払いが困難であること。
- (4) 学校教育法に規定する高等学校、高等専門学校、専修学校、短期大学又は大学（大学院を除く。）に在学する方であること。
- (5) 在学した学校長又は現に在学する学校長の推薦があること。

3. 貸与の額

- 高等学校・高等専門学校（自宅）・・・月額10,000円以内
- 高等学校・高等専門学校（自宅外）・・・月額30,000円以内
- 専修学校（専門）・短期大学・大学・・・月額35,000円以内

4. 貸与期間、返済期間

正規の修学期間が終了する月まで貸与します。また、卒業した月の翌月から7年以内（1年据置）に返済していただくことになります。（貸与資金の返済に利息はつきません。）

5. 選考基準

資金の貸与を受けようとする方は、学力及び家計の両方の基準を満たす必要がありますが、家計の基準が優先されます。

(1) 学力基準

- ① 新入生は、出身校の在学期間の全履修教科の平均値（評定平均値）が3.5以上。2年生以上は、入学から前年度までの全履修教科の平均値とします。
- ② 3.0以上3.5未満であっても、家族構成、家庭事情、本人の学業意欲、人物所見によって考慮します。

(2) 家計基準

貸与を受けようとする方の世帯人数に応じた収入基準をもとに算定されます。

詳細については、教育総務課までお気軽にお問い合わせください。

問合せ先：南砺市 教育部 教育総務課

〒939-1692 南砺市荒木1550番地

TEL：0763-23-2012 FAX：0763-52-6350

2. 土地開発基金

《土地面積の状況》

(単位：㎡)

区分	令和4年度末 現在高	令和5年度		令和5年度末 現在高
		増	減	
宅地	17,139.00	1,749.00	-	18,888.00
田畑	3,187.86	-	-	3,187.86
山林	-	-	-	-
その他（雑種地等）	-	-	-	-
合計	20,325.86	1,749.00	0.00	22,075.86

《簿価（土地価格）の状況》

(単位：円)

区分	令和4年度末 現在高	令和5年度		令和5年度末 現在高
		増	減	
宅地	229,452,257	42,289,648	-	271,741,905
田畑	28,366,677	-	-	28,366,677
山林	-	-	-	-
その他（雑種地等）	-	-	-	-
土地 計	257,818,934	42,289,648	-	300,108,582
現金預金 計	1,041,782,093	199,413	42,289,648	999,691,858
合計	1,299,601,027	42,489,061	42,289,648	1,299,800,440



必要な公共事業を実施するには、用地の取得が不可欠です。
土地開発基金を活用することで、事業用地の先行取得ができるようになります。



3. 美術品取得基金

＜美術品の状況＞

(単位：点、円)

作品タイトル	数量	作者名	分類	形状	取得年月日	取得価格	備考
櫻井之駅 楠父子誠忠	1	山本 光一	日本画	軸装	H16.8.4	315,000	軸先が陶器
栖霞品句板巻	1	棟方 志功	版画	製本	H16.8.4	700,000	
棟方志功日記他資料一括（日記3・資料6）	9	棟方 志功	資料		H17.8.9	1,260,000	
算	2	石崎 光瑤	日本画	2曲1双屏風	H17.8.19	15,000,000	裏箔・第8回文展 褒状受賞
横臥裸婦図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	21点セット 購入 10,500,000円
裸婦三人	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	
裸婦群像	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	
裸婦座像（1）	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	
裸婦座像（2）赤眼の裸婦図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	840,000	
裸婦庭図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	525,000	
裸婦座像（3）	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	525,000	
横臥図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	157,500	
池畔図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	210,000	
裸婦座像（4）	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	
立山遠望	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	157,500	
二人裸婦	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	420,000	
山間風景（1）	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	157,500	
立像裸婦達	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	1,260,000	
山間風景（2）	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	210,000	
桜樹	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	210,000	
赤松	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	420,000	
鯉魚図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	420,000	
静物	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	420,000	
魚図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	367,500	
裸婦立像図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	2,625,000	

(単位：点、円)

作品タイトル	数量	作者名	分類	形状	取得年月日	取得価格	備考
双鶏	1	石崎 光瑤	日本画	軸装	H20.1.16	2,000,000	
信州槍岳之図	1	石崎 光瑤	日本画	軸装	H20.1.16	315,000	
牡丹の柵	1	棟方 志功	版画	額装	H21.8.10	1,000,000	
貝族の柵	1	棟方 志功	版画	額装	H21.9.10	3,150,000	
合計	38					34,240,000	

「算」 石崎 光瑤 作

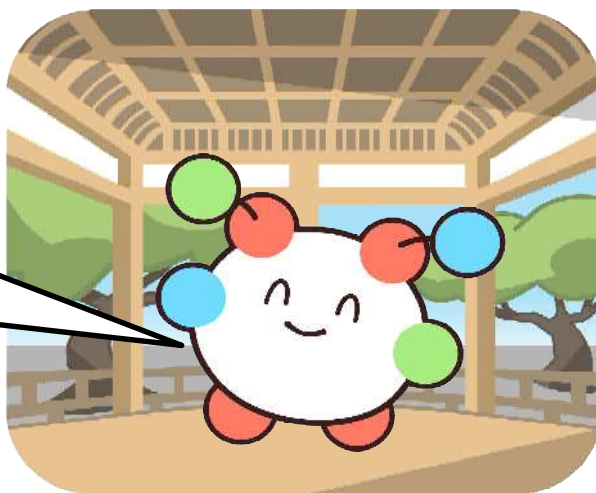


(右隻).



(左隻).

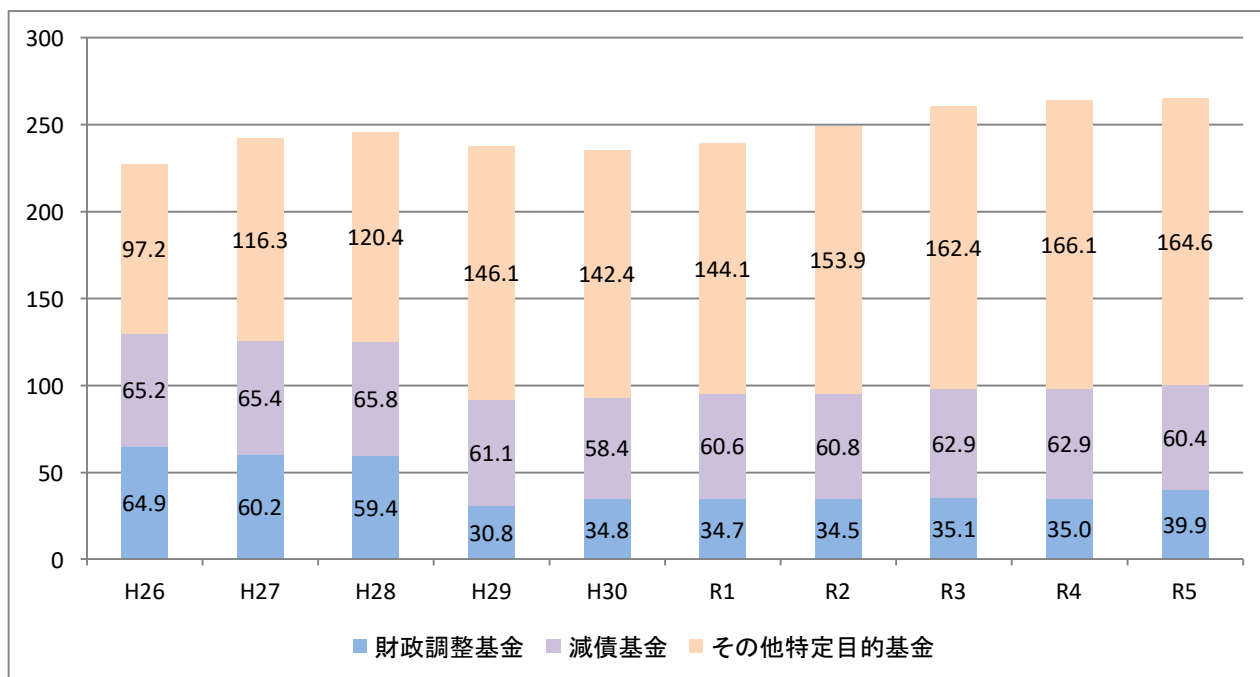
美術品などを安定して継続的に取得するために、設置している基金です。
取得した美術品は、福光美術館などで、一般に公開されています。



4. グラフで見る基金の推移（定額運用基金を除く）

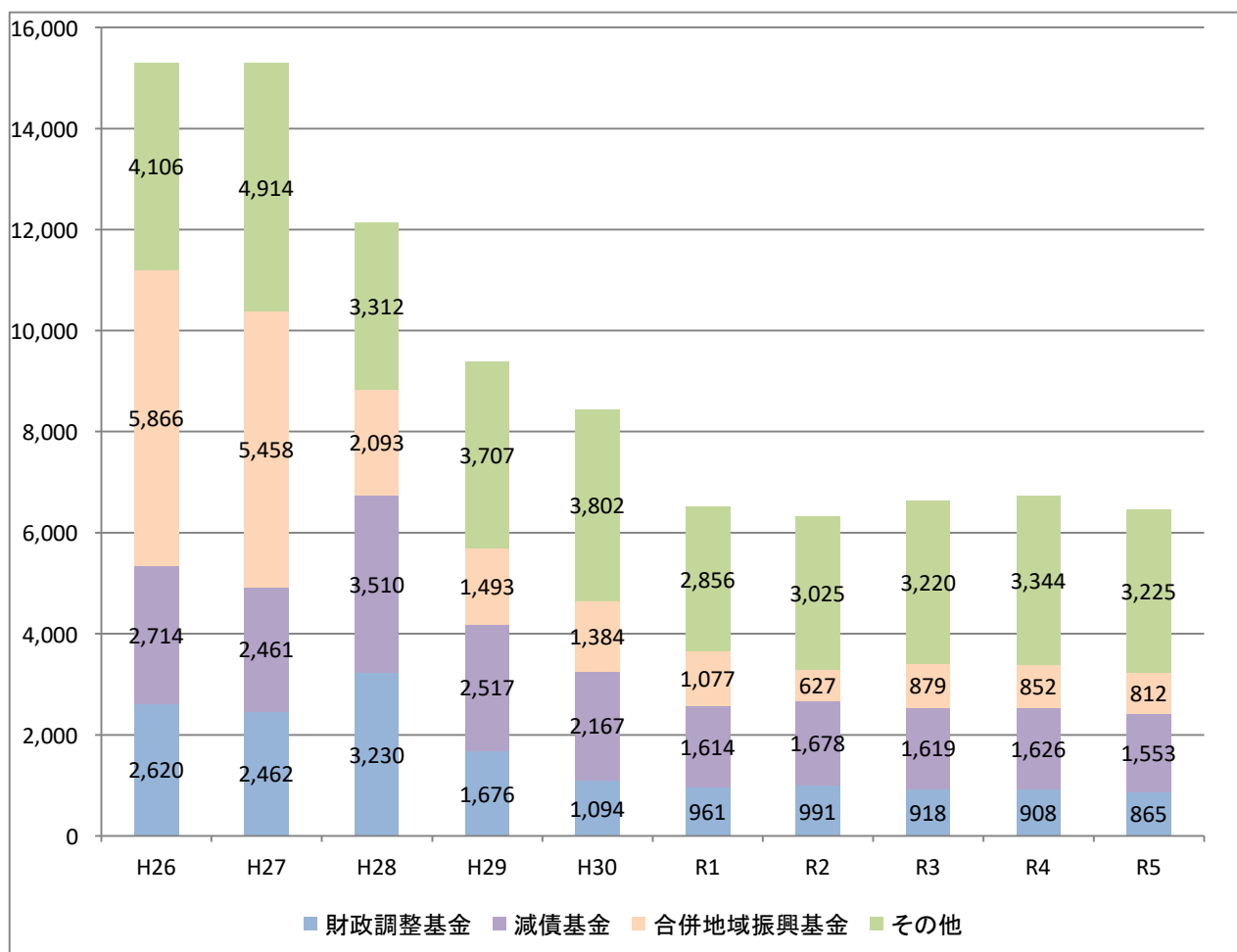
《年度末現在高》

（単位：億円）



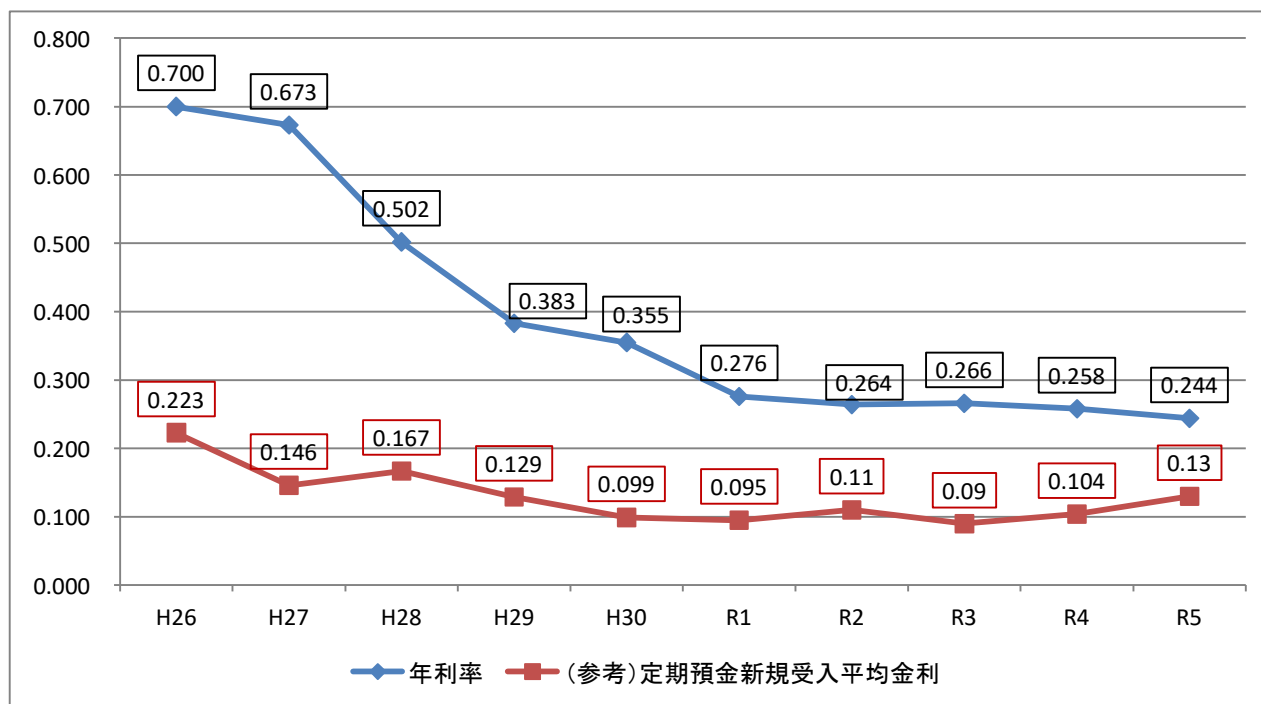
《運用益の状況》

（単位：万円）



《年利率》

(単位：％)



- ※1 年利率は、次の算式によって求めています。

$$\text{年利率} = \frac{n\text{年度運用益総額}}{(n-1)\text{年度末基金残高}} \times 100$$
- ※2 「(参考)定期預金新規受入平均金利」は、日本銀行が公表している毎年3月における「定期預金新規受入平均金利(預入金額1千万円以上、預入期間3か月以上6か月未満)」の値を参考としています。
- ※3 平成28年度以降は、基金の一括運用を行っています。基金の運用によって生じた収益は、1月1日現在の基金現在高に応じ、按分する取扱いとしています。

《県内10市の普通会計基金現在高(令和5年度末)》

(単位：億円)



出典：令和5年度地方財政状況調査

《今後の基金活用予定》

今後、歳入は「減少生産年齢人口の減少に伴う個人住民税の減、普通交付税の減」によって減少が見込まれ、その一方で、歳出は「維持補修費や扶助費の増加」が見込まれています。

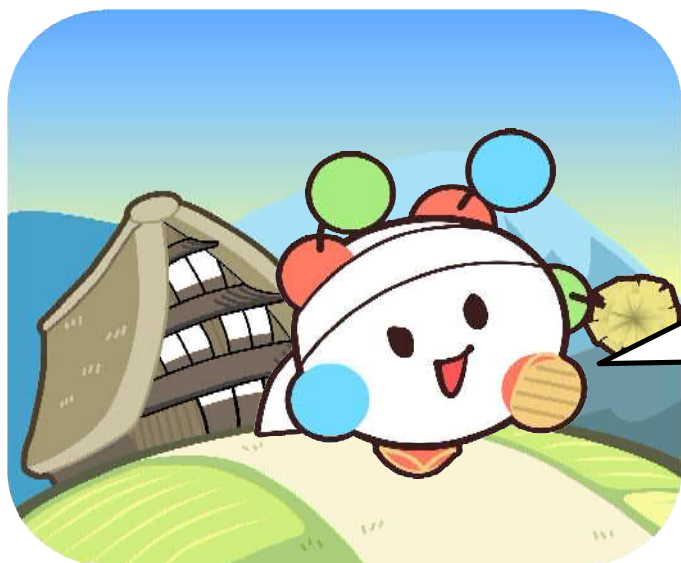
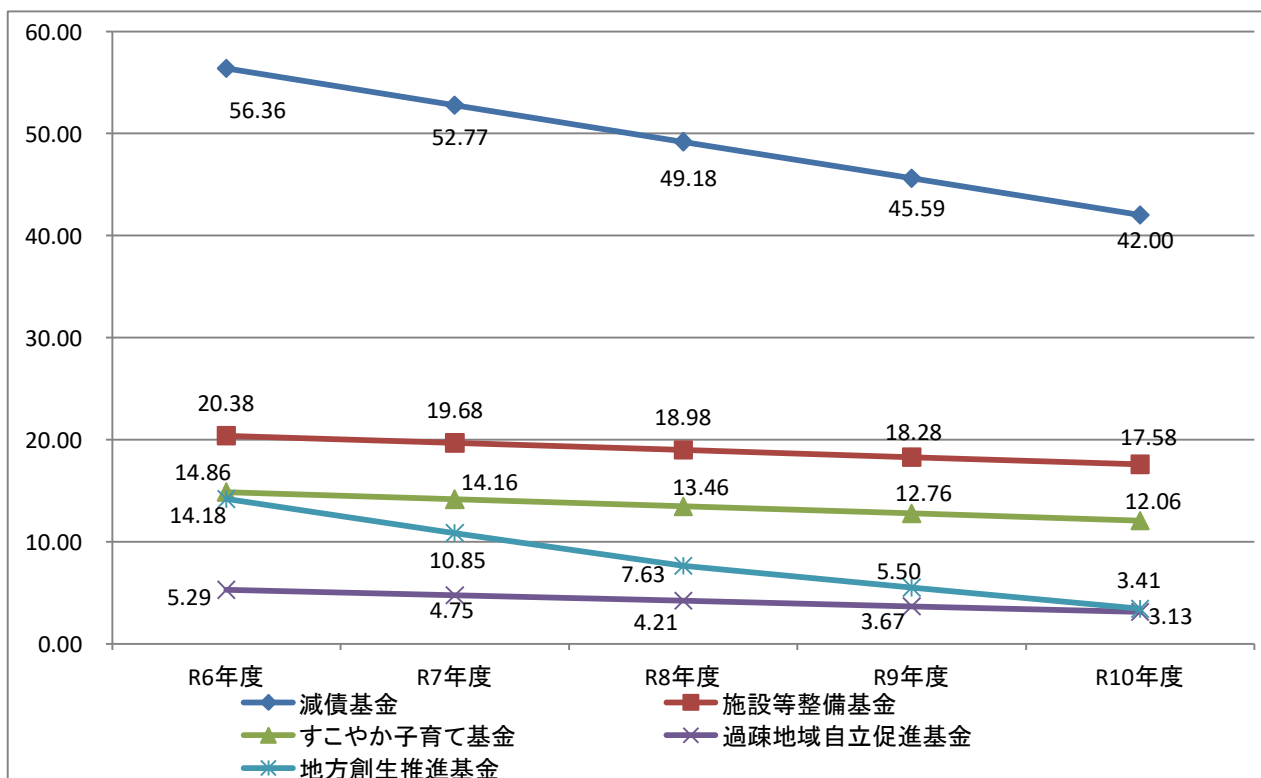
厳しい財政状況を迎える見通しを立てていますが、そのような状況下でも、必要とされる行政サービスを持続的かつ安定的に提供し、人口減少対策・地域振興対策・地域経済の活性化対策などの重点施策も実施していくために、基金を計画的に活用することとしています。

以下は、主要な基金の今後の活用予定を示したものです。

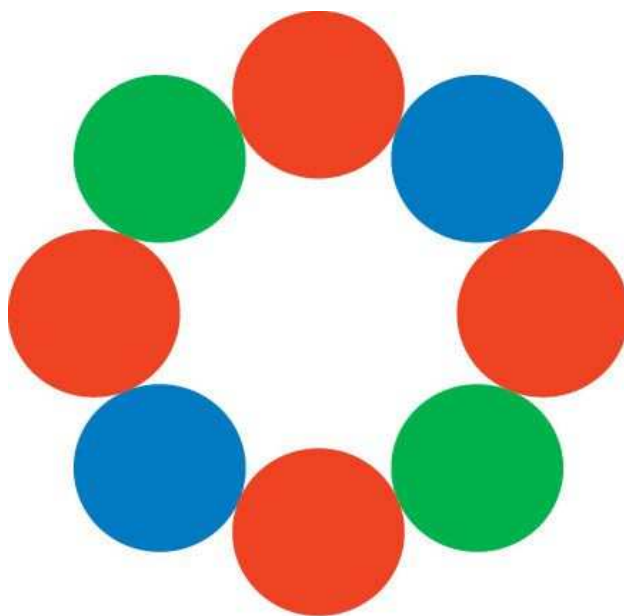
※基金残高は、今後の財政状況などによって変動する可能性があります。

■基金残高の見込み

(単位：億円)



安定した財政運営をするためには、基金の計画的な積立と活用（＝取崩し）が必要であり、そのバランスが大事になります。



NANTO

【制作】

〒939-1692 富山県南砺市荒木1550
南砺市役所 総務部 財政課

TEL 0763-23-2004
FAX 0763-52-6341